

# Nagatoro town

長瀬町観光振興計画

ダイジェスト版



— 長瀬ステイ —

なが〜く  
ゆったり  
ながとろ

令和2年3月  
長瀬町

## 計画の趣旨・背景

長瀬町の基幹産業は観光業と製造業ですが、人口減少と少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が今後一層進むことで、労働力と消費が低下し、産業振興や地域の経済活動に大きな影響を及ぼすことが予測されます。

こうした状況を打開するためにも、長瀬町は改めて観光振興を強く推し進めていきます。観光振興に期待されるものとして、宿泊業や飲食業、農林水産業、各種関連サービス業など外貨を獲得することで地域経済への幅広い波及効果と、町民の郷土愛の醸成や地域活性化といった多方面への効用があります。長瀬町においても経済的視点は欠かせないものであり、観光事業者が持続的に経営できるよう観光施策を展開することが重要だと考えています。ただし、観光施策を展開する上では、町民の理解や協力が必要不可欠であり、それなくして観光振興は成り立ちません。また近年では、インバウンド観光の受け入れに関する問題や観光公害とも言い表されるオーバーツーリズムに関する問題があることも事実です。そうした課題と向き合い、町民への理解を築きながら、町民と観光客が双方にとって幸せを感じられる観光を目指す必要があります。

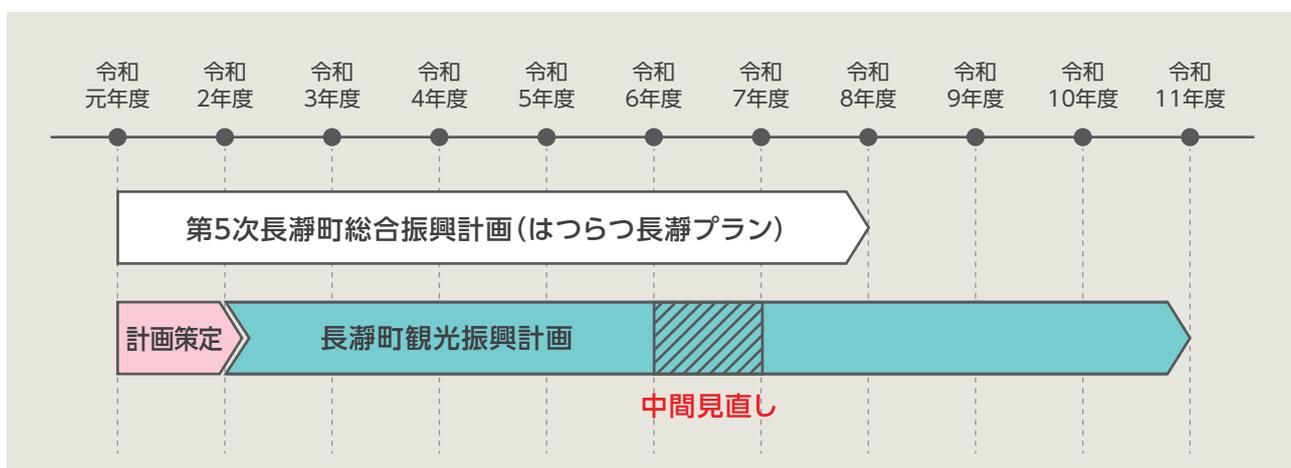
また、多様化する観光情勢に対応するためには、行政主導の取り組みだけでは限界があり、行政、町民及び関係団体・事業者が一体となった観光振興に取り組む体制づくりを強化することが求められます。

以上のことから、これまでの観光施策の成果や課題を踏まえ、交流人口や定住人口の拡大だけでなく、関係人口を増やすための視点も取り入れながら、長瀬町の観光振興の方向性を明確にし、短・中・長期的に施策を展開するための「長瀬町観光振興計画(以下「本計画」という。)」を策定しました。



## 計画の期間

本計画は、令和2年度を初年度とし、令和11年度を目標年度とする10年間の計画とします。なお、この計画期間中、長瀬町の状況や観光を取り巻く国内外の社会情勢の変化に対応するため、見直しを行う可能性があります。



## 課題と方向性

**1** 課題：通年で楽しめる(訪れる)ためのプログラムの不足  
方向性：体験型観光コンテンツづくり

**2** 課題：担い手の不足  
方向性：担い手の発掘や人材育成

**3** 課題：インバウンド受け入れ体制の整備不足  
方向性：広域観光によるインバウンドの推進

**4** 課題：長瀬町を想起させる食・特産品資源の不足  
方向性：長瀬町を想起させる食・特産品の開発

**5** 課題：町独自のプロモーションの不足  
方向性：ターゲットの設定、リピーター獲得に向けたプロモーション

## ターゲット

### エリア

- ・近隣～関東甲信越地域
- ・秩父鉄道沿線 ・西武鉄道沿線
- ・東武鉄道沿線
- ・JR沿線(八高線、高崎線など)
- ・インバウンド  
(台湾、タイ、アメリカ、フランス)

### 日帰り客

- ・インスタ映えする写真を撮りたい、休日癒されたい都会からの女子旅
- ・自然やアクティビティ、S Lに関心のある訪日外国人旅行者
- ・お酒とグルメ、地元の人や旅人との交流を楽しみたいローカル好きな若者
- ・健康志向のアクティブシニア
- ・金運アップ、パワースポット巡り好きな女性

### 宿泊客

- ・自然の中でゆっくり時間を過ごしたい  
お金にゆとりのある本物志向のシニア、  
訪日外国人旅行者
- ・アウトドア好きで清流キャンプを  
楽しみたいファミリー
- ・お酒とグルメ、地元の人や旅人との交流を  
楽しみたいローカル好きな若者

## 目標指標の設定

指標	基準値(平成30年)	目標値(令和11年)
観光入込客数	298.9万人	<b>377万人</b>
日帰り1人あたり観光消費額	3,644円	<b>5,600円</b>
宿泊1人あたり観光消費額	13,809円	<b>21,000円</b>

## 計画の体系

### コンセプト

長瀬ステイ なが〜く、ゆったり、ながとろ

#### 重点施策

(1) 季節や自然、歴史・文化を感じる  
滞在交流型観光ツーリズムの創出

(2) 情報発信やインバウンド観光を  
見据えた担い手の発掘・育成

(3) 長瀬ならではの食・特産品の開発

(4) 国内外に向けたプロモーション

(5) 観光基盤の整備

#### アクションプラン

① 体験型観光コンテンツの開発

② インバウンド向けコンテンツづくり

③ 関係人口づくり

① 観光ガイドの研修

① 長瀬ダイニング

② 長瀬グルメフェア

③ 特産品・土産品の開発

① インバウンド・プロモーション

② 長瀬といえばコレというプロモーション

③ 四季のプロモーション

④ 最新技術を活用したプロモーション

⑤ 国内のターゲットを招くモニターツアー

① 安全で快適な観光地づくり

② 観光資源のブラッシュアップと活用

③ インバウンド受け入れ環境の整備

# アクションプラン

## 重点施策(1)

### 季節や自然、歴史・文化を感じる滞在交流型ツーリズムの創出

#### ①体験型観光コンテンツの開発

長瀬町に点在する観光資源を活用し、四季を通じた体験型観光コンテンツ(町歩きプログラムなど)を開発することで、来訪するたびに新たな長瀬町の魅力に触れてもらえる仕組みをつくります。そのために、「食・体験・アクティビティ・自然・歴史・金運・夜・冬」などをテーマや物語で関連づけしてルート化することで町内を回遊してもらえるような仕掛けづくりを行います。

#### ②インバウンド向けコンテンツづくり

既存のコンテンツを訪日外国人旅行者にも楽しんでもらえるように見直しを行い、外国語対応や受け入れ側のおもてなし醸成を図ります。



## 重点施策(2)

### 情報発信やインバウンド観光を見据えた担い手の発掘・育成

#### ①観光ガイドの研修

観光協会と連携し、観光ガイドの募集及び研修を行います。さまざまなテーマで研修を行うことで、観光トレンドに対応できる人材の育成及び新たな人材の発掘を行います。

#### ③関係人口づくり

##### ■関係人口創出プロジェクト

長瀬町の観光における課題解決に関心のある関係人口を町外から募り、課題解決型のプロジェクトを実施します。その際、実現性の高いプロジェクトとなるようメンター制度を導入すること、またプロジェクト自体が話題性を呼び、長瀬町が更によりよい観光地として周知されるための仕組みづくりを行います。

##### ■長瀬たまりBAR

関係人口や町内事業者と連携のもと、空き店舗や商店街などの屋外スペースを活用し、地域の人と旅人が気軽に集まれる場の企画運営を行います。長瀬町に住んでいる、長瀬町で事業をしている魅力あふれる人のトークイベントや関係人口の持ち寄り企画など、地域の人と旅人が交流や協働を楽しめる歓交のまちづくりを行います。



## 重点施策(3)

### 長瀬ならではの食・特産品の開発

#### ①長瀬ダイニング

長瀬町が誇る自然や景色を見ながら、食事を楽しむことができる店舗や特別な一品を提供できる店舗を長瀬ダイニング加盟店として認定し、「長瀬グルメ」を目的とした来訪者の増加を図ります。

#### ②長瀬グルメフェア

地域おこし協力隊や民間事業者と連携し、観光資源となる長瀬らしいグルメを開発します。その上で、長瀬グルメフェアとしてイベントを開催し、周知を図ります。

#### ③特産品・土産品の開発

地域おこし協力隊や民間事業者と連携し、地元食材を活かした長瀬らしい特産品・土産品を開発します。



## 重点施策(4)

### 国内外に向けたプロモーション

#### ①インバウンド・プロモーション

英語表記のホームページやPV類の作成、海外の旅行会社などを招聘するファムトリップの実施など、情報発信することでインバウンド向けのプロモーションを行います。



#### ②長瀬といえばコレというプロモーション

実は知っているようで知らない長瀬という切り口で、観光資源を「登場人物」と「ストーリー」で紹介するプロモーション活動を展開します。媒体としては短編の映像制作を中心とし、観光協会ホームページやYoutubeなどから発信します。



### ③四季のプロモーション

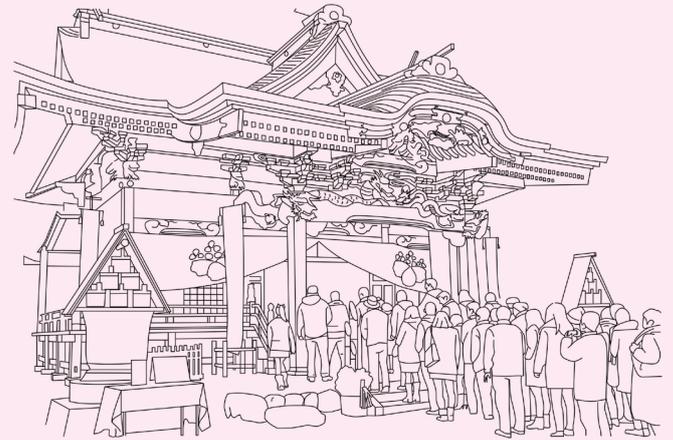
町民の協力のもと地域景観を花と緑で美しく保ち、年間を通して花を楽しめるよう花いっぱいのもちづくりを推進し、見る人すべてが長瀬の四季の美しさを感じられるプロモーションを実施します。また、花や樹木の植栽による美しい景観づくりに取り組みます。

### ④最新技術を活用したプロモーション

プロジェクトマッピングを岩畳周辺に投影するなど、観光資源と最新技術を掛け合わせることで、夜間や冬季の新たな観光資源につながるプロモーションを展開します。

### ⑤国内のターゲットを招くモニターツアー

観光コンテンツを開発・改善するため、本計画で設定したターゲットを招くモニターツアーを開催します。生の意見を聞くことで、よりよいコンテンツを創出します。



## 重点施策(5)

### 観光基盤の整備

#### ①安全で快適な観光地づくり

施設や道路、ものなどのハード面に限らず、情報やサービス、思いやりの心などのソフト面まで対象とするユニバーサルデザインの誰もが使いやすく、安全で快適な観光ができるという視点を持って観光地づくりに取り組みます。

#### ②観光資源のブラッシュアップと活用

観光資源のブラッシュアップと活用を通じて、観光の魅力を高め、観光客の町内周遊や宿泊につながるよう取り組みます。



#### ③インバウンド受け入れ環境の整備

訪日外国人旅行客が長瀬町を訪れた際、スムーズに観光を楽しめるようWi-Fi環境の見直しや多言語対応の看板整備、公衆トイレの洋式の増設などに取り組みます。また、観光案内所にはAIデジタルサイネージなどを導入します。





## 長瀬町観光振興計画【概要版】

---

発行年月 令和2年3月

発行 長瀬町 産業観光課

〒369-1392 埼玉県秩父郡長瀬町大字本野上1035番地1

電話:0494-66-3111(代表)

---